



事業を支える基盤

地域社会との連携(社会貢献活動)

当社グループは社会の一員であることを認識し、社会に役立つ創造的な企業を目指しています。その活動の一環として本社および秋田・福島両工場で推進する、主な社会貢献活動を取り上げました。

社会貢献の考え方

当社は、事業活動を通じて社会に貢献し続けるには、「安心・安全な製品をつくる」「お客さまに、より細やかなサービスを提供する」そして「未来に向けて技術をつなぐ」という3つのポイントが重要であると捉えています。その実現に向けて、製品の品質向上や技術革新もさることながら、製品づくり・販売などに携わる従業員それぞれの、「アネスト岩田の製品が社会に貢献している」という自覚が必要です。日頃から社会貢献を意識し、より高効率

な新製品の開発から梱包材の工夫に至るまでの業務のあらゆる側面に転化させていければ、よりよい「ものづくり」、ひいては持続可能な社会の実現に寄与できるものと認識しています。

また、本社や工場、事業所が立地する各地域においては、アネスト岩田が地元根付き、事業を進め、地域と共存共栄を果たすことこそ社会貢献であると考えています。

事業を通じた社会貢献活動：本社

エアエナジー事業部では、ブランド強化に向けて「エアエナジーらしさとは何か?」を構築するべく、「ビジネス・アイデンティティ・プロジェクト」を2018年度より立ち上げました。本プロジェクトは、「製品デザインの統一を促進」「社会貢献」「展示会等のプロモーション強化」「人材育成」という4テーマを活動の柱に据えて活動しています。

2019年2月には、「社会貢献」の一環として社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会を通じて、子会社であるアネスト岩田コンプレッサ(株)で販売しているバッテリー式空気入れを69カ所の特別養護老人施設に寄付しました。この空気入れはライト付きのうえソケットを備えており、車椅子のタイヤ用空気入れだけでなく、災害時の非常用照明および電源としても活躍します。

2018年度は横浜市を対象としましたが、2019年度は工場が立地する秋田県・福島県などへも範囲を広げていく予定です。私たちだからこそできることは何なのか、を日々検討し、今後はさらに活動の幅を広げていきます。



港北区社会福祉協議会さまとの打ち合わせ

地域との交流の場としても：秋田工場

秋田工場では、旧食堂のリニューアルを機に「食堂を兼ねたコミュニケーションスペースを作ろう」という計画が立てられました。そして2017年、「木のぬくもり」をコンセプト

とした新しい食堂をオープンしました。新食堂は従業員の憩いの場所のみならず、地元小・中学生や工業高校生の工場見学時に利用するなど、地域の

秋田工場の主な社会貢献活動

- 地元小・中学生や工業高校生、障がい者の方を対象とした工場見学会の実施
- 高校生のインターンシップ、中学生の職業体験、障がい者の方を対象とした実習の受け入れ

- 立地する大仙市で開催される全国花火競技大会への協賛
- 地元地区運動会への協賛
- 年1回、工場近隣の清掃活動を実施

方々とのふれあいの場としても大いに機能しています。今後もこのスペースを活用することにより、地域の



スプレーガンの塗布体験

方々との関係強化・従業員のモチベーション向上を図っていきます。



近隣工業高校の工場見学会

イベントを通じた自社製品・技術の紹介：福島工場

福島工場では、立地する福島県矢吹町のイベントに、積極的に協力しています。

その中でも、「日本三大開拓地子ども交流事業」※1では、工場見学を兼ねて「真空実験ショー」「エア射的」など、エアエナジー事業を展開している自工場の仕事をアピールするとともに、子どもたちに対する技術教育・啓蒙を行うイベントを実施しています。



矢吹町フロンティア祭りでの「エア射的」

同様の取り組みは、2017年より参画した「矢吹町フロンティア祭り」※2でも実施しており、子どもたちのみならず、地域の皆さまからも好評です。2018年9月に開催された今年度も参加し、ご好評のうちに終了しました。今後も継続して参加する計画です。

福島工場では、当社の創業100周年に向けて「福島工場はどうあるべきか」を考え、知名度・工場自体の魅力・従業員のモチベーションの向上を目指す「F100実行委員会」を発足させました。今後、地域と工場双方が持続的に関係を維持できるよう、活動を続けていきます。

※1：旧農林省発行の「戦後開拓史」に、国営大規模開拓事業について大きな成果を上げた自治体と記載されている、宮崎県川南町・青森県十和田市・福島県矢吹町の3市町村による交流事業。

※2：復興に向けて活力あふれる福島県矢吹町の魅力を内外に発信、体感的に認知・理解してもらうため、地域の産業・教育・文化等に係る団体・企業、さらに行政機関等が一堂に会して行う、来場者が数万人となる矢吹町最大規模の祭事。

福島工場の主な社会貢献活動

- リニューアルした食堂をコミュニケーションスペースとして活用した地域住民の方々との交流(地元サッカーチームの謝恩会で使用する、など)
- コミュニケーションスペースを利用した「やぶき経営懇話会」参加企業と合同での新入社員研修会の実施
- 高校生のインターンシップの受け入れ
- 年2回、工場周辺の他、市街地など地域の清掃活動を実施
- 矢吹町観光案内所での製品展示と矢吹駅構内でのポスターを掲示
- 矢吹町内企業への当社製品PR活動を実施